

スピロテトラマト水和剤 モベントフロアブル	取扱メーカー： 日農，バイエル 原体メーカー： バイエル
成分： スピロテトラマト〔環状ケトエノール系〕……………22.4%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

●幅広い吸汁性害虫に優れた効果がある。アブラムシ類，アザミウマ類，コナジラミ類，ハダニ類，トマトスピダニ，チャノホコリダニの同時防除が可能。

●難防除害虫に安定した効果がある。本剤は害虫の脂質合成を阻害することで効果を発揮する。既存剤に感受性の低下したアブラムシ類やタバココナジラミバイオタイプQ，及びミナミキイロアザミウマ等の難防除害虫に安定した効果を発揮する。

●優れた浸透性，浸透移行性がある。本剤は植物体内に速やかに取り込まれ，導管や篩管を通じて作物の生長点へと運ばれる。生長点は多くの吸汁性害虫の寄生場所なので，これらの害虫を効率的に防除することができる。

●遅効的だが，残効性に優れた効果が長期間持続する。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

●遅効的な薬剤なのでウイルス病の媒介阻止力はない。成虫の飛来時期や多発条件での使用には速効性の殺虫剤との混用，もしくは体系処理をする。

●成虫に対する効果は弱い。本剤は害虫の密度が低い時期に処理することで，より長期間の効果を発揮する。

●多くの天敵類に対して安全だが，カブリダニ類に対しては強い影響がある。

●マルハナバチに対して影響があるので，使用する場合には他の方法で受粉作業（人工授粉，植物ホルモンなど）を行う。

●灌注処理後及びミツバチ使用場面では，散布翌日の放飼が可能。

【薬効・薬害等の注意】……………

●遅効的なので，効果の完成までに1週間程度かかる場合がある。

●軟弱な苗に灌注又は株元灌注すると薬害を生じるおそれがあるので注意する。

●本剤をきゅうり，すいか及びメロンのセル成型苗に株元灌注又は灌注すると，薬害を生じるおそれがあるので注意する。

●適用作物（きゅうり）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●機能性展着剤を加用してなすに散布する場合，果実表面にくぼみ状の薬害が生じるおそれがあるので事前に薬害の有無を確認して使用する。

●適用外作物（水稻）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

●蚕に対して長期間毒性があるので，周辺の桑葉にかからないようにする。

●眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗する。

●カブレやすい体質の人は取扱いに十分注意する。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	スピロテトラマトを 含む農薬の総使用回数			
かんきつ	アザミウマ類 カイガラムシ類 ミカンサビダニ チャノホコリダニ ミカンハダニ	2000倍	200～ 700 ℓ	7日前まで	3回 以内	散布	3回以内			
りんご	アブラムシ類 カイガラムシ類 ハダニ類 リンゴサビダニ			14日前まで						
なし	アブラムシ類 カイガラムシ類 ニセナシサビダニ ハダニ類									
ぶどう かき	アザミウマ類 カイガラムシ類									
もも ネクタリン 小粒核果類	アブラムシ類 カイガラムシ類 ハダニ類									
おうとう	カイガラムシ類 ハダニ類									
キャベツ	アザミウマ類 コナガ		7日前まで	3回 以内			散布	3回以内		
	アブラムシ類	2000～ 4000倍								
はくさい		4000倍								
ブロッコリー レタス	アザミウマ類 アブラムシ類	2000倍 2000～ 4000倍	100～ 300 ℓ						14日前まで	
非結球レタス	アザミウマ類 アブラムシ類	2000倍 2000～ 4000倍								
かぼちゃ	アブラムシ類 コナジラミ類 ハダニ類	2000倍	7日前まで							
きゅうり	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類 ハダニ類		前日まで							
	アザミウマ類 ハダニ類	500倍	50 ml / 株		育苗期後半 ～定植当日	1回			株元灌注	
	アブラムシ類 コナジラミ類		25～50 ml / 株							
メロン すいか	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類 ハダニ類	2000倍	100～ 300 ℓ		前日まで	3回 以内			散布	3回以内 (灌注は1回 以内)
	アザミウマ類 ハダニ類	500倍	50 ml / 株		育苗期後半 ～定植当日	1回			灌注	
	アブラムシ類 コナジラミ類		25～50 ml / 株							

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	スピロテトラマトを 含む農薬の総使用回数					
ズッキーニ	アブラムシ類 コナジラミ類	2000 倍	100 ～ 300 ℓ	前日まで	3 回 以内	散布	3 回以内					
なす ピーマン とうがらし類	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類 チャノホコリダニ ハダニ類						3 回以内 (灌注は 1 回 以内)					
	アザミウマ類 チャノホコリダニ ハダニ類							500 倍	50 ml / 株	育苗期後半 ～定植当日	1 回	灌注
	アブラムシ類 コナジラミ類											
ト マ ト ミニトマト	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類 トマトサビダニ	2000 倍	100 ～ 300 ℓ	前日まで	3 回 以内	散布	3 回以内					
アスパラガス	アザミウマ類 コナジラミ類 ハダニ類						3 回以内 (灌注は 1 回 以内)					
い ち ご	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類							500 倍	50 ml / 株	育苗期後半 ～定植当日	1 回	灌注
	アザミウマ類 ハダニ類											
	アブラムシ類 コナジラミ類											
みょうが (花穂)	アブラムシ類	2000 倍	100 ～ 300 ℓ	前日まで	3 回 以内	散布、但し 花穂の発生 期にはマル チフィルム 被覆により 散布液が直 接花穂に飛 散しない状 態で使用する	3 回以内					
みょうが (茎葉)				みょうが (花穂) の 収穫前日ま で 但し、 花穂を収穫 しない場合 にあつては 開花期終了 まで								
し そ				アザミウマ類	14 日前まで	2 回 以内	散布					
に ん に く				チューリップサビダニ								
ばれいしょ	アブラムシ類	4000 倍		7 日前まで	3 回 以内	3 回以内						
て ん さい												
チューリップ	チューリップサビダニ	4000 倍	摘花後～球 根掘取り前 まで	2 回 以内	2 回以内							